

蹴武の型 飛び後ろ横蹴りの型

乙支（ウルチ）

概要および特長

創始日 2012（平成24）年6月12日

隋の煬帝、大業八年（西暦612年）第二次高句麗侵攻=麗隋戦争に由来

型名称の由来 乙支文徳（ウルチ・ムンドク）

乙支文徳は、文武両道の高句麗の名将

隋110万超の大軍を薩水（清川江）で破り、祖国を防衛した（薩水大捷）。

韓国では外敵から祖国を防衛した救国の英雄として尊敬されている。

たとえば、首都ソウルには、乙支文徳を讃えた乙支路（ウルチロ）があり、勲章にも乙支武功勲章がある。

創始者 河明生

演武 44動作

統一王朝・高麗の王命により、

西暦1143年から1145年にかけて50巻執筆された

韓国最古の歴史書『三国史記』第44巻の「乙支文徳伝」に由来

演武線 乙

型の特長

注意 第23回全日本FT大会蹴武型の決勝戦における指定型。

優勝・入賞を目指す蹴士は、各自が事前に練習してください。

① 飛び後ろ横蹴り

右・半後屈立ち＋起龍の構えから、

右・飛び後ろ横蹴り、次いで左・右飛び後ろ横蹴りの前進連続蹴り

② 後進・飛び後ろ横蹴り

右・半後屈立ち＋飛龍の構えから、後進しながら、右・飛び後ろ横蹴り

③ 飛び360度回転後ろ横蹴り

右足で踏み込んで飛び、体を360度回転させながら飛び後ろ横蹴り

④ 飛び横蹴り＋飛び後横蹴り空中連続蹴り

右足で踏み込んで左・飛び横蹴り、着地せず連続で右・飛び後ろ横蹴り

⑤ 十字系四方蹴り

宗師範セミナー寺解説

⑥ ×字系四方蹴り

同上